

産学連携クリーンテック技術展

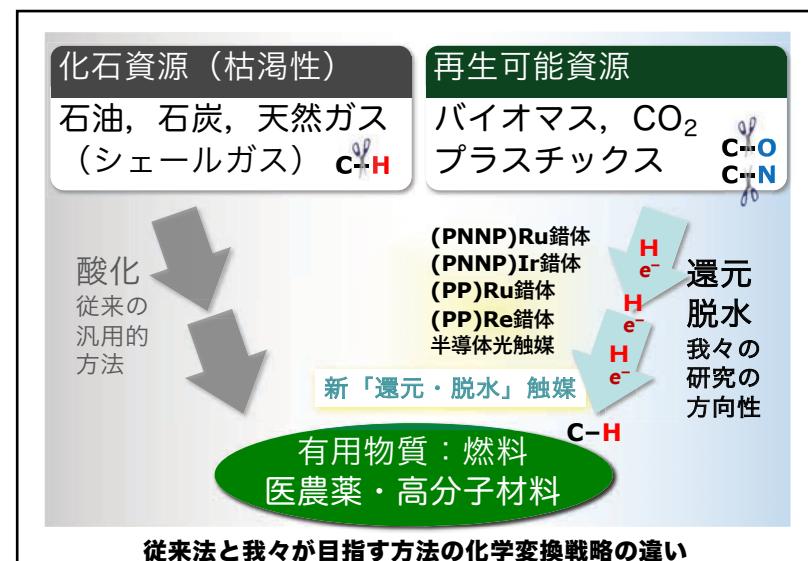
名古屋商工会議所 (Zoom at Nagoya Univ), Feb 25th, 2021

名古屋ECOクラブ

水素を使ったカルボン酸還元技術

斎藤 進
名古屋大学 物質科学国際研究センター
名古屋大学 高等研究院 院友

GTR Nagoya University, REACTION INFORMATION, IGER, AGC ASAHI GLASS, kuraray, DAIBO CO., LTD., MITSUBISHI CHEMICAL, NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD., SUMITOMO CHEMICAL, 高等研究学院 IAR ACT-C, 高導的物質変換領域





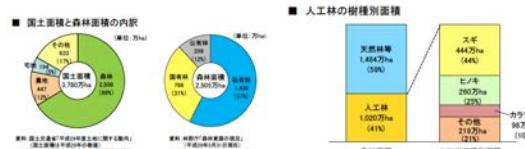
森林資源の現状

① 森林の状況 木質バイオマス (WB) 燃料利用

- 我が国は世界有数の森林国。森林面積は国土面積の3分の2にあたる約2,500万ha(人工林は約1,000万ha)。
- 森林資源は人工林を中心に蓄積が毎年約7千万m³増加し、現在は約52億m³。
- 人工林の半数が一般的な主伐期である50年生を超えており、資源を有効活用すると同時に、循環利用に向けて計画的に再造造成することが必要。

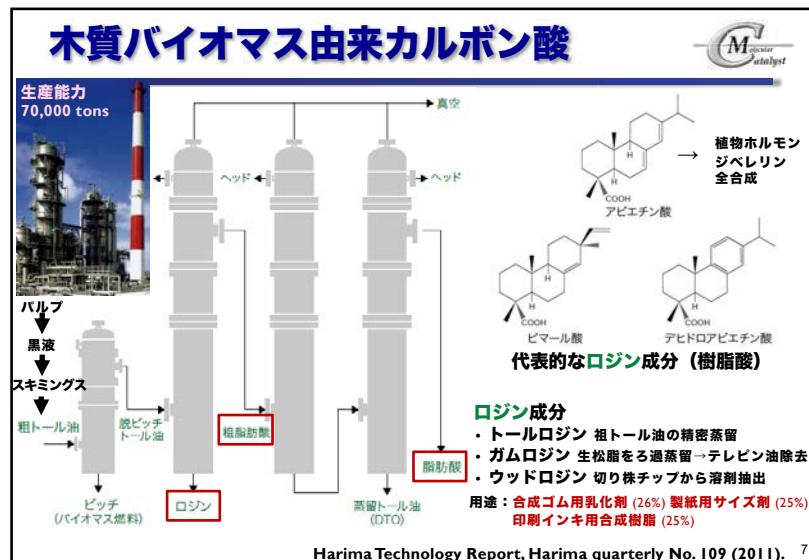
② 木材需給の動向 WB燃料利用→急激に増加 2012年「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT法)」

- 木材供給量は、住宅着工戸数の減少等を背景とした木材需要の減少により、長期的に減少傾向であるものの、近年は回復傾向。
- このうち木材輸入量は、1996年をピークに減少傾向で推移する一方、国産材の供給量は、2002年を底に増加傾向。木材自給率も、2002年の18.8%を底に上昇傾向で推移し、2018年は8年連続の上昇で36.6%となり30年前の水準に回復。
- 木材需要量のうち、2018年は製材用が31%、合板用が13%、パルプ・チップ用が39%であり、燃料材が増加傾向。

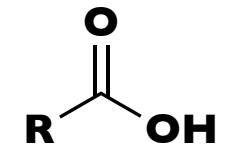


2020年7月、林野庁「木質バイオマスのエネルギー利用の現状と今後の展開について」

6

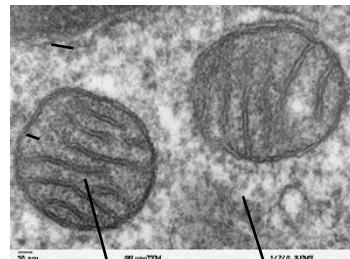


カルボン酸：天然資源としての多様性



酢酸（お酢）、アミノ酸、乳酸、酒石酸、酪酸、シアル酸、食品や医農薬の中にもたくさん…

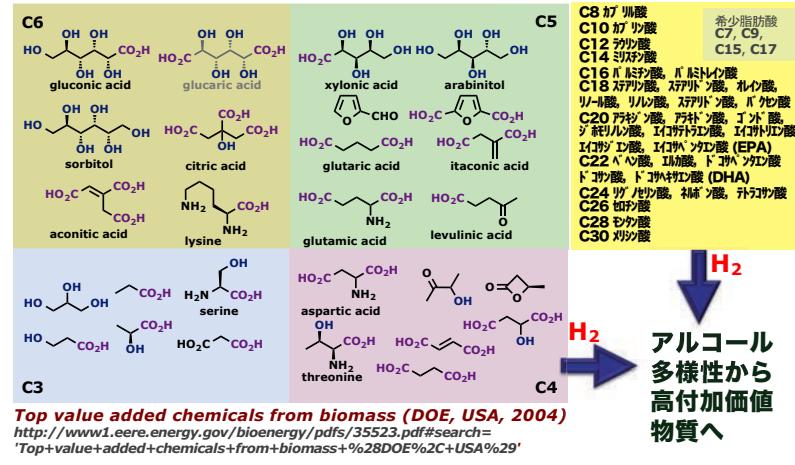
脂肪酸 : C₈ カリブ酸 C₁₀ カリツ酸 C₁₂ カリツ酸 C₁₄ ミリツ酸
C₁₆ ハリツ酸, ピネルツ酸 C₁₈ フタリツ酸, ステアリツ酸,
ルイツ酸, リルツ酸, フリツ酸, ハリツ酸 C₂₀ ナガリツ酸,
アキツ酸, イグツ酸, テリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸
イコツ酸, リツ酸, イコツ酸, エコツ酸, エコツ酸, エコツ酸
ドコツ酸, ドコツ酸, ドコツ酸, ドコツ酸, C₂₂ ハリツ酸, C₂₄ ハリツ酸,
トリツ酸, テリツ酸, C₂₆ ハリツ酸, C₂₈ ハリツ酸 C₃₀ ハリツ酸...
ガラツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸,
アキツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸,
脂汁酸, ハリツ酸, ハリツ酸, ハリツ酸...



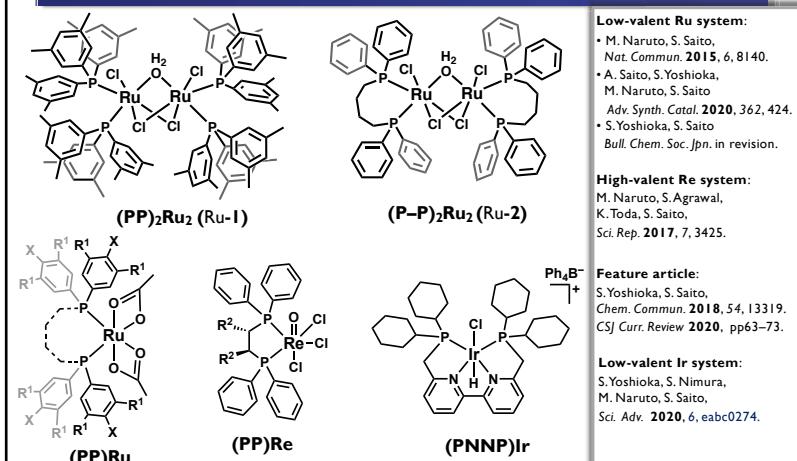
ミトコンドリア
mitochondrion
細胞質
cytoplasma

コハク酸, フマル酸, リンゴ酸,
オキザロ酢酸, クエン酸, アコニチン酸
オキソグルカル酸, イタコン酸...

アルコール多様性の資源化

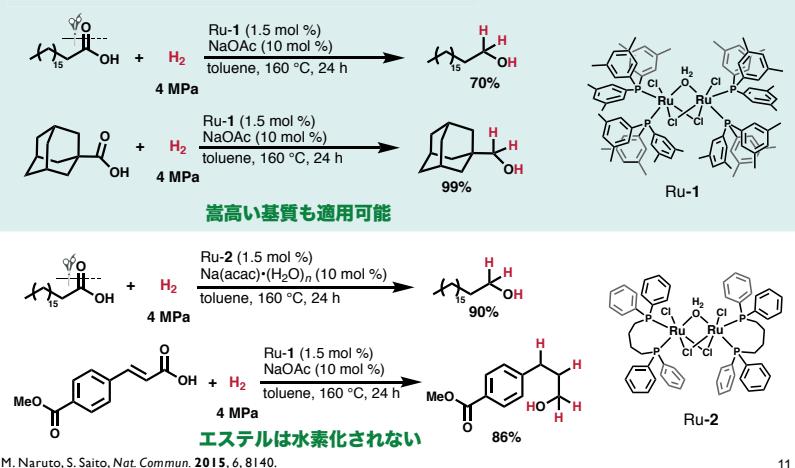


当グループで開発した金属錯体（分子）触媒



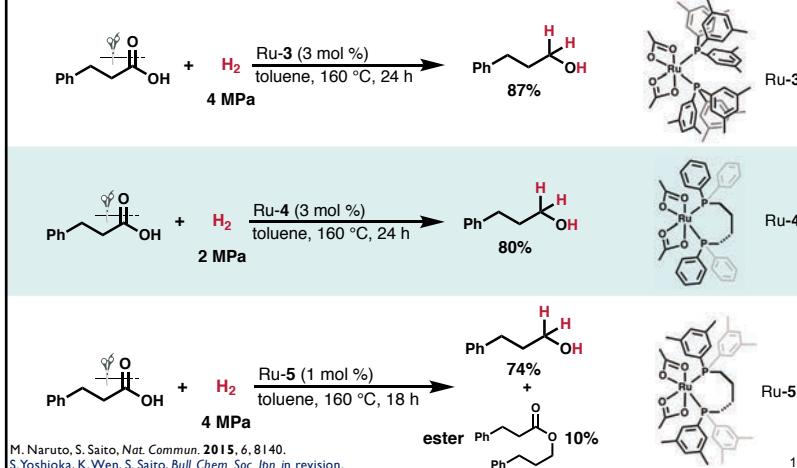
10

Ru触媒を用いる水素化1



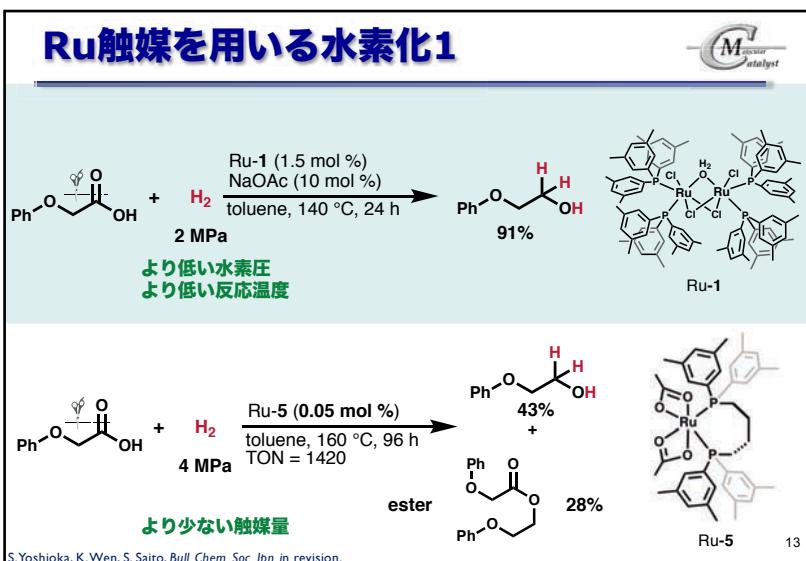
1

触媒活性の向上は可能だが...

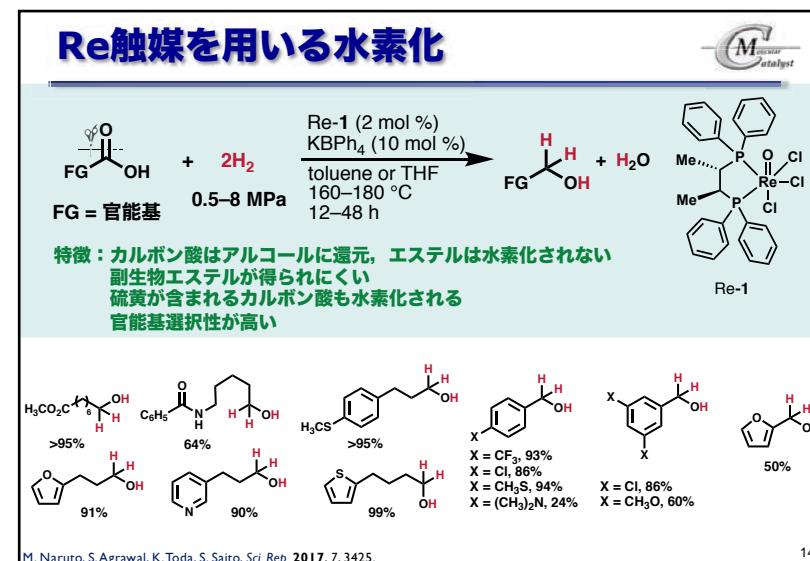


1

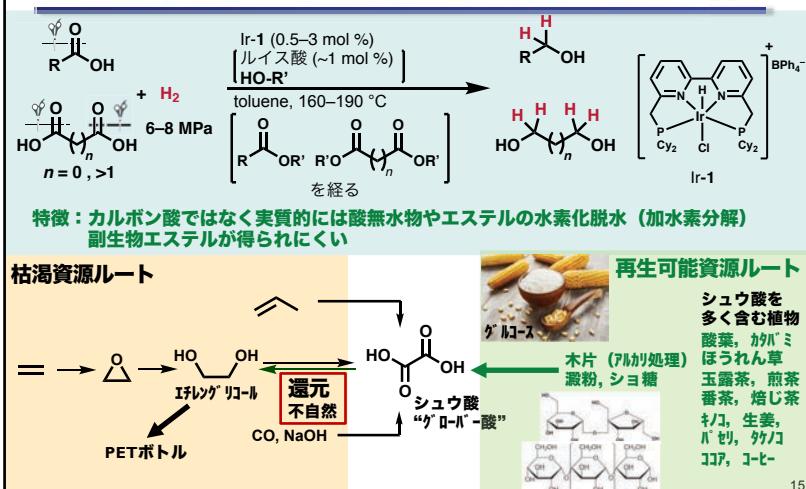
Ru触媒を用いる水素化1



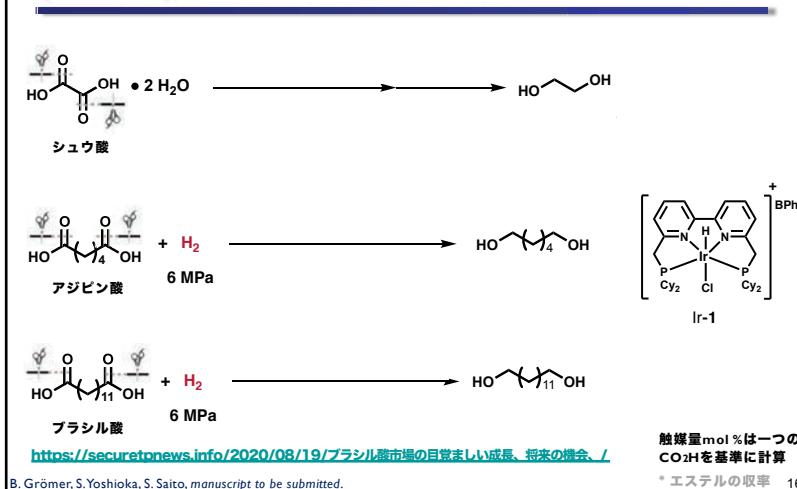
Re触媒を用いる水素化



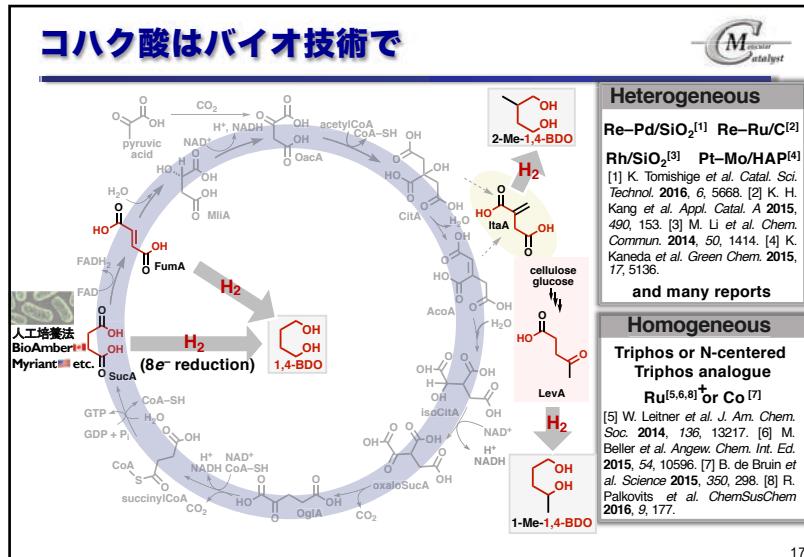
頑健なIr錯体を用いる多価カルボン酸の水素化



(PNNP)Ir錯体を用いる水素化 1

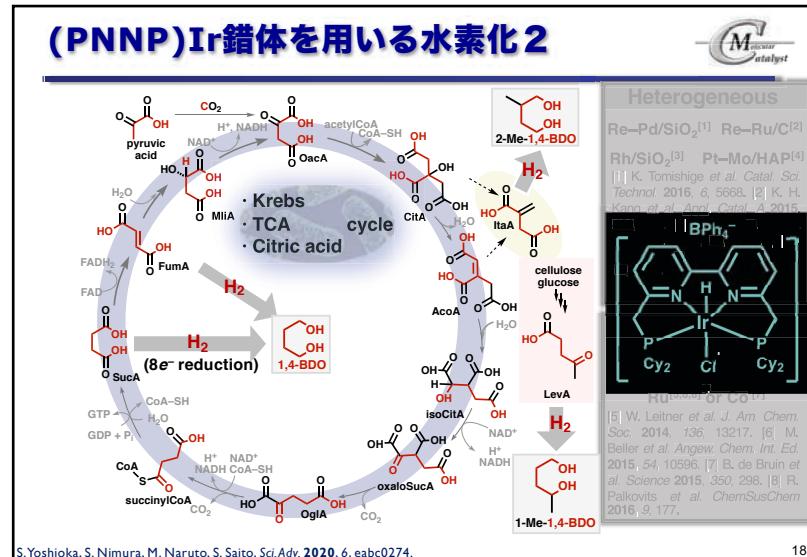


コハク酸はバイオ技術で



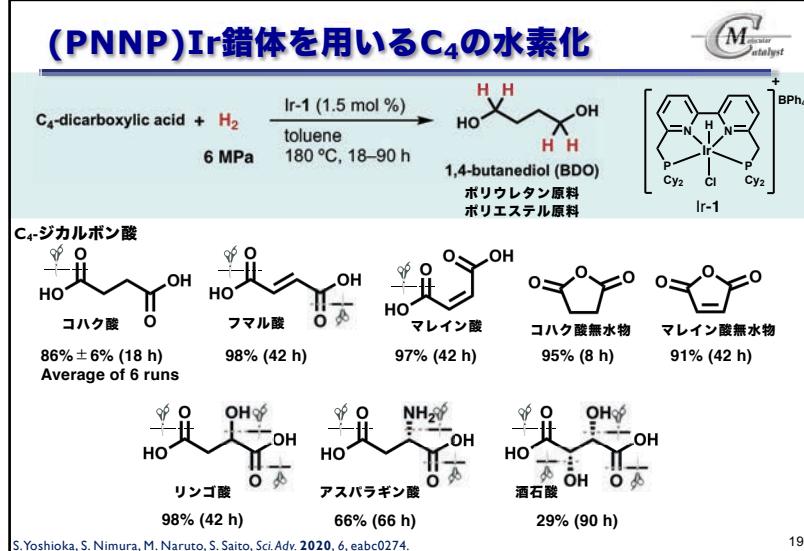
17

(PNNP)Ir錯体を用いる水素化2



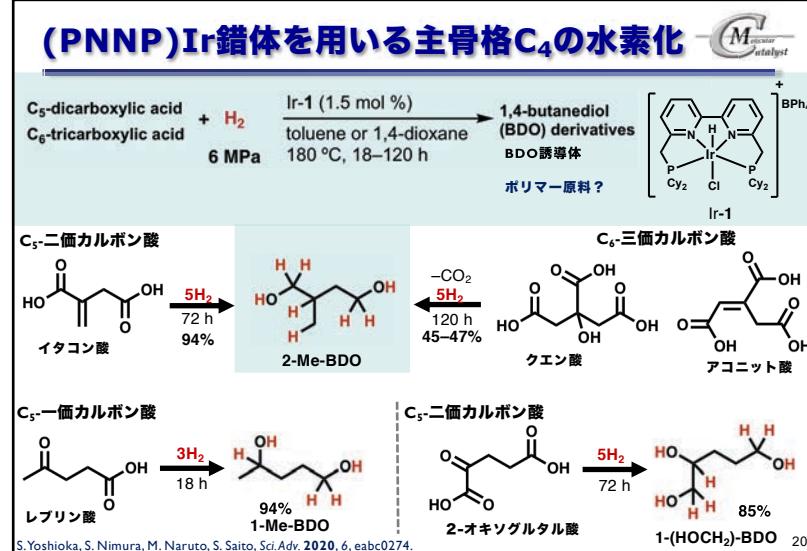
18

(PNNP)Ir錯体を用いるC₄の水素化



19

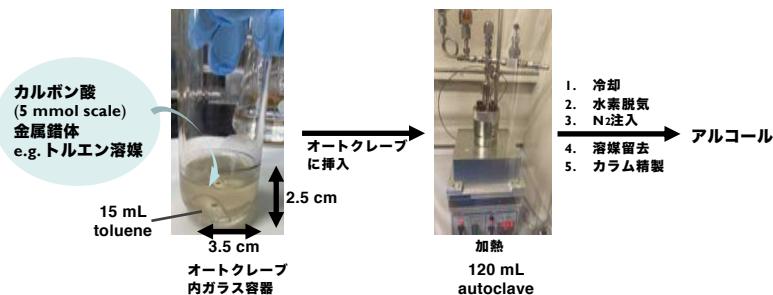
(PNNP)Ir錯体を用いる主骨格C₄の水素化



5

実験装置と方法

触媒前駆体 金属錯体の合成は市販品から1-3段階



21



本水素化技術のまとめ

- (PP)Ru錯体, (PP)Re錯体, および(PNNP)Ir錯体はそれぞれ様々な一価カルボン酸および多価カルボン酸の水素化を触媒し, 一価アルコールもしくは多価アルコールへと変換できる.
- エステルの副生は原理的に避けられない. しかし (PP)Re触媒および(PNNP)Ir錯体は優位にエステル形成を抑制. その結果, 高い選択性でアルコールが得られる.

今後の課題

- 工業的な設備投資を考えた場合, より低水素圧(<1 MPa)が望ましい
高圧ガス法に基づく新規設備投資: 10億円以上?
- 貴金属の使用: 金属源もしくは錯体そのものの回収と再利用
- 触媒活性の更なる向上: 触媒回転数 >100,000以上
- 卑金属を使うことができるか?

22